



## 1. 理事会からのお知らせ

### (1) 代表理事挨拶

TCER フェローおよび関係者の皆様方には、日頃より TCER の活動にご支援とご協力をいただきまして、心よりお礼申し上げます。一昨年 6 月に TCER 代表理事に就きまして、業務総括理事・業務執行理事の坂井豊貴先生と会計・研究会担当業務執行理事の寺井公子先生を中心として理事の先生方とともに、TCER の一層の発展と TCER におけるより良い研究環境の構築のために TCER の活動を推進してまいりました。しかしながら、過去 2 年間、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって、TCER の活動も大きく制約を受けた状態が続いてきました。TCER の事業の状況は、現在、以下のようになっております。

第一に、NBER、CPER、TCER が共同で開催する TRIO コンファレンスについて、2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って中止となりましたが、2021 年度は、日本経済国際共同研究センター (CIRJE) および東京大学金融教育研究センター (CARF) のサポートを受けて、2022 年 3 月 11 日 (金) と 12 日 (土) にオンラインで開催しました。今回のテーマは、「新型コロナウイルス感染症とマクロ・金融 “Covid-19 and the macroeconomy and finance”」で、新型コロナウイルス感染症のパンデミック (世界的大流行) が世界経済に与えた影響を主としてマクロ経済学と金融の側面に焦点を当てて議論されました。

第二に、TCER コンファレンス (旧逗子コンファレンス) については、旧逗子コンファレンスの伝統を受け継ぎ、2 年計画で共同研究を行い、商業出版を行う事業を行っています。2019 年度に開始したプロジェクトは、フィンテックや AI のもたらす革新により、世界的な大転換を迎えつつある金融業の未来と、それが本格的な高齢化・人口減少社会に突入した日本における金融業・金融システムに与える影響について研究するため、2022 年 7 月下旬に「金融業の未来と日本の金融業」というテーマでコンファレンスを開催し、研究成果をまとめた書籍を 2023 年 3 月までに東京大学出版会から書籍として出版する方向で事業が進められています。

第三に、2021 年度は「新型コロナと日本経済」研究助成を実施し、現在、4 つのプロジェクトが走っています。また、2022 年度より「フロンティア研究」プロジェクトを開始します。これは、日本の経済社会が直面する喫緊の政策課題や斬新なアプローチによる萌芽的な研究を、少人数 (5~20 人程度) の研究グループで 5 年程度かけて実施することを念頭においており、現在、テーマとプロジェクトリーダーを選定中です。また、コロナのため 3 年連続で中止したジュニアワークショップは、コロナの感染状況をみながらではありますが、2022 年度に再開の方向です。

パンデミックの 2 年目となった昨年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催

など社会経済活動も一定の回復が見られましたが、新型コロナウイルスの数々の変異株の発生と流行により、感染収束と言うには程遠い状態が続いています。さらに、今年に入ってからロシアによるウクライナ侵攻という地政学的なリスクが顕在化し、世界の政治・経済的秩序が根本的に揺らぐ事態となりました。世界と日本の経済が感染症危機と地政学的危機に同時に直面する現状では、これらの危機が世界経済及び日本経済に与える影響や、適切な政策対応のあり方などについて、経済学的なアプローチによる的確な研究が強く求められています。TCER ではこうしたテーマについて研究を行い、その研究成果を知見として蓄積し、コロナ禍とウクライナ侵攻で惹起された経済的問題の解決に貢献することをめざして、活動して参ります。皆様におかれましては、引き続き TCER の活動にご支援、ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

小林慶一郎（代表理事・慶應義塾大学）

## （2）2021年度後半の理事会報告

2021年度第3回理事会は、2022年2月3日（木）15時00分～16時45分、東京経済研究センター事務所及びウェブ会議システム（ZOOM）において開催されました。令和4年度の事業計画書及び令和4年度の予算書が承認されました。寄附者が用途を特定していない寄附金について、公益目的事業に要する経費に充てる割合、令和4年度投資方針書についても承認されました。フロンティア研究事業積立金の積み立て、および、令和3年度特定資産を増額することも決議されました。評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について原案が提示され承認されました。評議員選定委員会の招集、評議員選定委員の選任、評議員候補者の推薦について原案が承認されました。

また、2名の新規フェローの入会も承認されました。最後に、報告事項として、2021年度の事業の執行状況について説明がありました。

## （3）2021年度後半の評議員会報告

2021年度第2回評議員会は、2022年3月16日（水）16時00分～17時00分、東京経済研究センター事務所及びウェブ会議システム（ZOOM）で開催されました。令和4年度の事業計画書及び令和4年度の予算書が承認されました。

## （4）所属先変更のご連絡のお願い

所属先が変更になった方は、お手数をおかけしますが、TCER事務局（office@tcer.or.jp）までご連絡下さい。また、メールアドレスの変更を希望なされるフェローも同様に事務局までご連絡ください。必要事項は、氏名（フリガナ）、所属先、所属先住所（郵便番号）、電話番号、メールアドレスとなります。

※TCER 事務局のメールアドレスが変わりました。新メールアドレスは [office@tcer.or.jp](mailto:office@tcer.or.jp) です。

### (5) 2022 年度研究助成のお知らせ (フェロー以外も応募可能)

TCER では、毎年、個人研究助成を行っています。この研究助成制度は、TCER フェローを含む若手研究者の個人及び相互による経済学に関わる理論・実証面での萌芽的研究を支援することを目的としています。

**応募資格**：日本国内の大学および研究機関に所属する経済学研究者であれば、どなたでも応募することができます。ただし、同一テーマで過去 3 年以内に助成を受けた方（共同研究者である場合も含む）は応募できません。

**助成対象期間**：2022 年 4 月～2023 年 3 月

**報告義務**：2023 年 3 月末までに所定の様式に従って研究成果報告書を提出するとともに、研究成果を東京経済研究センターワーキング・ペーパーとしてまとめていただきます。これは RePEc の TCER リサーチペーパーシリーズにも入れることになります。（なお研究成果の提出は 2024 年 3 月末まで延長できます。）

**助成金額**：1 件当たり最高 40 万円

※助成金には大学の間接経費（事務処理経費、オーバーヘッド）は含まれません。

**応募締め切り**：2022 年 5 月 9 日（月）午前 9 時

**応募用紙**：応募用紙 (<https://www.tcer.or.jp/> からダウンロード可) に入力し、Word ファイルをメールに添付してください。

**応募先**：TCER 事務局 E メールアドレス ([office@tcer.or.jp](mailto:office@tcer.or.jp)) に提出してください。

## 2. コンファレンスご案内・報告

### 公1 国際的学術研究・交流事業

#### (1) TRIO コンファレンス

東京経済研究センター（TCER）は毎年、米国 NBER および欧州 CEPR と共催する形で、米国および欧州における著名な経済学研究者を毎年東京に招いて現代社会のホットイシューを報告・討論するコンファレンスを開催しています。2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って中止となりましたが、2021 年度は、日本経済国際共同研究センター（CIRJE）および東京大学金融教育研究センター（CARF）のサポートを受けて、2022 年 3 月 11 日（金）と 12 日（土）にオンラインで、全米経済研究所（NBER）、東京経済研究センター（TCER）、および欧州経済政策研究センター（CEPR）と共同で行う年次国際学術会議“29th NBER-TCER-CEPR conference (TRIO conference)”を開催しました。オーガナイザーは植田健一先生（東京大学、TCER、CEPR）、福田慎一先生（東京大学、TCER）、Joshua Hausman 先生（ミシガン大学、NBER）でした。

今回のテーマは、「新型コロナ感染症とマクロ・金融 “Covid-19 and the macroeconomy and finance”」で、新型コロナ感染症のパンデミック（世界的大流行）が世界経済に与えた影響を主としてマクロ経済学と金融の側面に焦点を当てて議論されました（プログラムの詳細は、下記を参照して下さい）。

新型コロナ感染症のパンデミックは、世界経済に史上最悪の景気停滞をもたらしました。今回の感染症の大きな特徴は、本来は健全なはずの経済が、時短要請や外出自粛によってその活動が縮小に追い込まれたことにあります。問題の本質が経済そのものであれば、これまでの知見にもとづいて景気刺激策が可能です。しかし、行き過ぎた活動の再開は感染者数を再拡大させ、長い目でみると経済の回復にマイナスの影響を与えてしまいます。「感染症対策と経済活動の両立」というこれまで経験したことのない難題にわれわれは直面したといえます。そうした中、新しい経済社会のあり方として注目されたのが、情報通信技術などハイテク技術を活用した働き方でした。感染拡大が長期化するなか、テレワークやインターネット会議は、さまざまな職場で急速な広がりを見せました。経済の落ち込みが深刻ななか、情報通信関連の分野は、衛生・健康関連の分野などとともに、「コロナ特需」で堅調となりました。他方、飲食業、旅行関連業、イベント業など、バーチャル空間ではビジネスが成立しにくい業種では、先の見えない苦悩が続きました。ウィズコロナ時代には、ポストコロナを見据えた新しいビジネスチャンスをいかに広げていくだけでなく、苦境に直面する業種をいかにサポートしていくかが重要な課題であったといえます。

本コンファレンスでは、このような問題意識に立って、新型コロナ感染症の拡大が日米欧の経済にもたらした影響を議論しました。日米欧の経済学者がそれぞれの視点から、パンデミックが世界経済に与えた影響をおよびそれに関連した諸問題を議論することは大変意義深かったといえます。コンファレンスには、トップクラスの研究者に加えて、日本国内の若手研究者にも参加してもらい、学術的・実務的観点から最近のホット 이슈を理論的・実証的に議論を深めることで、日本の研究のレベルアップにつながりました。なお、報告論文は、レフェリーによる審査を経て、国際学術誌 *Journal of the Japanese and International Economies* (JJIE)に刊行予定です。

プログラムは以下の通りです。

### Friday, March 11

#### *Session 1: Economic impacts*

Chair: Joshua Hausman (University of Michigan, NBER)

JST / CET / EST      Presenter and coauthor(s)

20:00 / 12:00 / 6:00 Daisuke Fujii (University of Tokyo), Hiroyuki Kubota  
(University of Tokyo), Yuta Maeda (University of Tokyo),  
Kohei Machi (University of Tokyo), Masataka Mori (Middlebury

College), Taisuke Nakata (University of Tokyo), and Haruki Shibuya (University of Tokyo)

“Value of a COVID-19 Death”

Discussant: Chris Papageorgiou (International Monetary Fund)

20:50 / 12:50 / 6:50 Kayoko Ishii (Keio University), Isamu Yamamoto (Keio University), and Mao Nakayama (Keio University)

“Potential Benefits and Determinants of Remote Work During the COVID-19 Pandemic: Evidence from Japanese Household Panel Data”

Discussant: Masaru Sasaki (Osaka University)

21:40 / 13:40 / 7:40 Coffee Break

21:50 / 13:50 / 7:50 Joseph Gagnon (Peterson Institute for International Economics), Steven B. Kamin (American Enterprise Institute) and John Kearns (American Enterprise Institute)

“The Impact of the COVID-19 Pandemic on Global GDP Growth”

Discussant: Etsuro Shioji (Hitotsubashi University)

22:40 / 14:40 / 8:40 Adjourn

### Saturday, March 12

#### *Session 2: State aid for the corporate sector*

Chair: Kenichi Ueda (University of Tokyo, CEPR, TCER)

JST / CET / EST Presenter and coauthor(s)

20:00 / 12:00 / 6:00 Tommaso Bighelli (Halle Institute for Economic Research, CompNet), Tibor Lalinsky (National Bank of Slovakia), and Juuso Vanhala (Bank of Finland)

“Covid-19 Pandemic, State Aid and Firm Productivity”

Discussant: Arito Ono (Chuo University)

20:50 / 12:50 / 6:50 Tomohito Honda (University of Tokyo), Kaoru Hosono (Gakushuin University), Daisuke Miyakawa (Hitotsubashi University), Arito Ono (Chuo University), Iichiro Uesugi (Hitotsubashi University)

“Determinants and Effects of COVID-19 Business Support Programs: Evidence from a Survey to SMEs in Japan”

Discussant: Tibor Lalinsky (National Bank of Slovakia)

21:40 / 13:40 / 7:40 Coffee Break

*Session 3: Monetary policy and government debt*

Chair: Shin-ichi Fukuda (The University of Tokyo, TCER)

21:50 / 13:50 / 7:50 Gong Cheng (Bank for International Settlement), Enrique Alberola (Bank for International Settlement), Andrea Consiglio (University of Palermo), and Stavros A. Zenios (University of Cypress)

“Debt Sustainability and Monetary Policy: The Case of ECB Asset Purchases”

Discussant: Junko Koeda (Waseda University)

22:40 / 14:40 / 8:40 Michael Bordo (Rutgers University, NBER) and John V. Duca (Oberlin College and Federal Reserve Bank of Dallas)

“How the New Fed Municipal Bond Facility Capped Municipal-Treasury Yield Spreads in the Covid-19 Recession”

Discussant: Mototsugu Shintani (University of Tokyo)

23:30 / 15:30 / 9:30 Conclude

**(2) TCER=TIFO フェローシップ**

2022年度分は募集中止が決まりました。

**(3) TCER コンファレンス 「金融業の未来と日本の金融業」**

フィンテックや AI のもたらす革新により、世界的な大転換を迎えつつある金融業の未来と、それが本格的な高齢化・人口減少社会に突入した日本における金融業・金融システムに与える影響について研究するため、2019年度からプロジェクトを開始しました。オーガナイザーは祝迫得夫先生（一橋大学）、植杉威一郎先生（一橋大学）、安田行宏先生（一橋大学）、小野有人先生（中央大学）の4人です。2020年度はコロナ感染症の影響でプロジェクトをいったん中断しましたが、2021年度秋より再開し、2022年1月に二回にわたって、オンラインでリサーチ・ミーティングを行いました。その際の関係資料は、以下のWebページで参照可能となっています。:

<https://sites.google.com/site/tokuoiwaisako/tcer%E9%87%91%E8%9E%8D%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%AF%E3%83%88>

2022年7月下旬に本番のコンファレンスを開催し、研究成果をまとめた書籍を2023年3月までに東京大学出版会から書籍として出版する方向で事業が進められています。2022年1月時点での執筆者は以下の通りです（ただし論文タイトルは全て仮題、著者のあいうえお順）：

祝迫得夫（一橋大学）・山田昌弘（大阪大学）「21世紀の日本の株式市場の変遷と将来」

植杉威一郎・安田行宏（一橋大学）「日本企業の資金調達」

植田健一（東京大学）「金融危機と規制への含意」

内田交謹（九州大学）「日本型コーポレート・ガバナンスの制度的補完性と進化」

小野有人（中央大学）「日本の銀行業の変貌：過去・現在・未来」

白須洋子（青山学院大学）「炭素排出量の削減と機関投資家の役割」

戸村肇（早稲田大学）「信用経済と決済システム」

藤木裕（中央大学）「日本の家計による支払手段選択」

本多俊毅（一橋大学）「株式投資における投資家の曖昧さ回避行動」

家森信善（神戸大学）「ポストコロナ時代に求められる地域金融機関の役割：金融を超えた企業支援のための課題」

柳瀬由典（慶應義塾大学）「日本の損害保険業における企業保険の歩みと現代的課題」

## 公2 学術研究交流促進事業

### （1）マイクロ経済分析事業（2021年度DCコンファレンスとの共同開催）報告

第27回DCコンファレンスは、2021年10月16日（土）にZOOMを用いてオンラインにて行われました。コンファレンス内容は、12本の投稿論文報告と1本の招待講演によって構成されました。投稿論文の報告は、(1)10時00分から10時50分、(2)13時30分から15時10分、(3)15時30分から18時00分、の3つの時間帯に分かれ、すべての時間帯で並行して二つのセッションが行われました。招待講演は、飯島良太氏(Yale University)による“Learning Efficiency of Multi-Agent Information Structures”という題目で、研究報告が11時00分から12時00分まで行われました。参加者数は約60名で、どの報告に対しても活発な議論が繰り広げられ、大変有意義なコンファレンスとなりました。プログラム委員は下記の先生方です。また、プログラムは次頁のとおりです。

プログラム委員：安部 浩次（神戸大学・オーガナイザー）、菊地 和也（法政大学）、篠原 隆介（法政大学）、関口 格（京都大学）、平井 俊行（法政大学）、宮川 栄一（神戸大学）、宮原 泰之（神戸大学・オーガナイザー）

時間帯	--	<u>座長：無藤 望 (横浜国立大学)</u> <u>Meeting Room A (Zoom起動)</u>	<u>座長：白田 康洋 (小樽商科大学)</u> <u>Meeting Room B (Zoom起動)</u>
10:00-10:50	Session 1	村本 顕理 (大阪経済大学) "Asymmetric optimal auction design with loss-averse bidders"	<u>府内 直樹 (滋賀大学)</u> "Stochastic adaptive learning with committed players in games with strict Nash equilibria"
11:00-12:00	招待講演	<u>座長：宮原 泰之 (神戸大学) Meeting Room A (Zoom起動)</u> <u>飯島 良太 (Yale University)</u> "Learning efficiency of multi-agent information structures"	
12:00-13:30	<u>昼休み (オンライン懇親会12:15-13:25) Meeting Room A (Zoom起動)</u>		
		<u>座長：安部 浩次 (神戸大学)</u> <u>Meeting Room A (Zoom起動)</u>	<u>座長：宮川 栄一 (神戸大学)</u> <u>Meeting Room B (Zoom起動)</u>
13:30-14:20	Session 2	<u>赤星 立 (南山大学)</u> "Characterization of two solutions for criteria integration in decision making under multiple criteria"	<u>野田 俊也 (東京大学)</u> "Deviation-based learning"
14:20-15:10		<u>小井田 伸雄 (岩手県立大学)</u> "Intransitive indifference with direction-dependent sensitivity"	<u>小林 照義 (神戸大学)</u> "Unstable diffusion in social networks"
15:10-15:30	Break		
		<u>座長：清水 崇 (神戸大学)</u> <u>Meeting Room A (Zoom起動)</u>	<u>座長：若山 琢磨 (龍谷大学)</u> <u>Meeting Room B (Zoom起動)</u>
15:30-16:20	Session 3	<u>石原 章史 (東京大学)</u> "Cooperation or collusion? rents in relational contracts for teams"	<u>渡邊 燃 (東京工業大学)</u> "Hepatorenal organ exchange"
16:20-17:10		<u>多鹿 智哉 (北星学園大学)</u> "The Transition between Internal Promotion and External Recruitment: from the Perspective of Perverse incentive of Internal Candidates"	<u>篠崎 弘毅 (大阪大学)</u> "No price envy and minimal manipulability in the multi-unit object allocation problem with non-quasi-linear preferences"
17:10-18:00		<u>諸岡 千裕 (東京大学)</u> "Cheap-talking with multiple decision makers: A computational approach"	<u>河崎 亮 (東京工業大学)</u> "Minimal enforceability and indirect domination relations in the Shapley-Scarf economy"
18:15-		<u>オンライン懇親会</u> <u>Meeting Room A (Zoom起動)</u>	

## (2) マクロ経済分析事業 (2021年度 TCER マクロコンファレンス) 報告

第23回 TCER マクロコンファレンスが2021年12月11、12日の2日間にわたり、オンライン開催され、多くの投稿論文から厳選された6本の論文が報告されました。研究テーマはそれぞれ、(1)為替レートの変動が相対価格変動を通じて経済厚生に及ぼす影響、(2)金融政策の変化が年齢間でどのように異なった反応を示すのかの理論的検証、(3)国際資本移動と人口動態の関係における海外直接投資の役割、(4)生産要素賦存量と内生的な生産自動化が貿易パターンに及ぼす影響、(5)金融危機が企業の技術革新に及ぼす影響、(6)財政政策のアナウンスメントが持つシグナリング効果の分析でした。なお、このコンファレンスは、TCER (東京経済研究センター)、大阪大学社会経済研究所、基盤S「経済停滞と格差拡大：世界経済の危機と統一マクロ理論の構築」、慶應義塾大学経済学部、東京大学デジタル・エコノミー・プロジェクト、および、一橋大学経済研究所経済社会リスク研究機構により主催されました。

プログラムは以下の通りです。

### 第1セッション

座長：塩路 悦朗 (一橋大学)

“Welfare Costs of Exchange Rate Fluctuations: Evidence from the 1972 Okinawa Reversion” (加納和子との共著)

発表者：加納 隆 (一橋大学)

討論者：宮本 亘 (香港大学)

“Monetary Policy over the Lifecycle” (R. Anton Braun との共著)

発表者：池田 大輔 (日本銀行)

討論者：青木 浩介 (東京大学)

### 第2セッション

座長：櫻川 昌哉 (慶応大学)

“International Capital Flows and Demographics: the Role of Foreign Direct Investment” (平形尚久との共著)

発表者：片桐 満 (法政大学)

討論者：石瀬 寛和 (大阪大学)

### 第3セッション

座長：敦賀 貴之 (大阪大学)

“Factor Endowments, Endogenous Automation, and Trade”

発表者：菊池 信之介 (MIT)

討論者：藤原 一平 (慶応大学)

“Does a Financial Crisis Impair Corporate Innovation?” (澤田充との共著)

発表者：今井 雅巳 (Wesleyan University)

討論者：滝澤 美帆（学習院大学）

#### 第4セッション

座長：植杉 威一郎（一橋大学）

“The Signaling Effects of Fiscal Announcements” (Leonardo Melosi, Francesco Zanetti との共著)

発表者：森田 裕史（法政大学）

討論者：池田 大輔（日本銀行）

### (3) 若手研究者育成支援事業（ジュニア・ワークショップ）

2021年度は開催しませんでした。新型コロナウイルス感染症のために3年連続で開催を見合わせましたが、2022年度は開催を目指しています。開催の場合はフェロー配信・ウェブサイト等でお知らせします。

### (4) TCER 定例研究会（2021年度TCER研究会）報告

2021年度のTCER研究会は慶応義塾大学にて行われ、2021年度後半の開催は以下の通りでした。2022年度のTCER研究会は早稲田大学にて行われています。詳細はフェロー配信でお知らせしています。なお、TCER定例研究会にはフェローの方はいつでも参加できます。

#### ミクロ経済学ワークショップ

2022/01/21(金) 14:45-16:15 対面 オンライン参加可

相澤直貴 (University of Wisconsin-Madison)

“Labor Market Screening and Social Insurance Program Design for the Disabled”  
joint with Soojin Kim and Serena Rhee

2022/01/14(金) 14:45-16:15 オンライン

虞朝聞 (慶應義塾大学)

“Continuous Adjustments and Smale’s Non-tâtonnement Processes” joint with  
Yuhki Hosoya

2021/12/17(金) 14:45-16:15 オンライン

東陽一郎 (岡山大学)

“Costly Subjective Learning” joint with Kazuya Hyogo and Norio Takeoka

2021/12/10(金) 14:45-16:15 対面 オンライン参加可

清水崇 (神戸大学)

“On the Combination of Biased Members”

2021/12/03(金) 14:45-16:15 対面 オンライン参加可

白田康洋 (小樽商科大学)

“A Merger Paradox: Proposal Right and Price Discrimination”

2021/11/12(金) 14:45-16:15 対面 オンライン参加可

大石尊之 (明治学院大学)

“Axiomatic Analysis of Liability Problems with Rooted-tree Networks in Tort Law” joint with Gerard van der Laan and René van den Brink

2021/11/05(金) 14:45-16:15 オンライン

Onur Kesten (The University of Sydney)

“Blood Allocation with Replacement Donors: A Theory of Multi-unit Exchange with Compatibility-based Preferences” joint with Xiang Han and M. Utku Ünver

2021/10/29(金) 14:45-16:15 対面 オンライン参加可

芹澤成弘 (大阪大学)

“Minimum Price Equilibrium in the Assignment Market: Serial Vickrey Mechanisms” joint with Yu Zhou

2021/10/22(金) 14:45-16:15 オンライン

坂東桂介 (信州大学)

“Stability and Substitutability in Dynamic Matching Markets” joint with Ryo Kawasaki

2021/10/15(金) 14:45-16:15 オンライン

佐野隆司 (横浜国立大学)

“Multi-object Auction Design with Multidimensional Types: Revenue Maximization and Efficiency”

2021/10/08(金) 14:45-16:15 オンライン

平田大祐 (一橋大学)

“Stability, Strategy-Proofness, and Respecting-Improvements Properties” joint with Yusuke Kasuya and Yasunori Okumura

### マクロ経済学ワークショップ

2021/12/21(火) 16:40-18:10 オンライン

片桐満 (法政大学)

“Systematic Foreign Exchange Intervention and Macroeconomic Stability: A Bayesian DSGE Approach”

2021/12/14(火) 16:30-18:00 オンライン

R. Anton Braun (Federal Reserve Bank of Atlanta)

“Monetary Policy over the Lifecycle”

2021/12/07(火) 16:30-18:00 オンライン

Jake Zhao (Peking University HSBC Business)

“The Growth of Chinese R&D and Innovation”

2021/11/30(火) 16:30-18:00 オンライン

Petr Sedlacek (Oxford/The University of New South Wales)

“Productivity, Demand and Growth”

2021/11/09(火) 16:30-18:00 オンライン

菊地朋生 (早稲田大学)

“Does Foreign Debt Contribute to Economic Growth?”

2021/11/02(火) 16:30-18:00 オンライン

Andrea Gerali (Bank of Italy)

“(In)efficient Separations, Firing Costs and Temporary Contracts”

2021/10/26(火) 16:30-18:00 オンライン

Robert Kirkby (Victoria University of Wellington)

“Quantitative Macro: Lessons Learnt from Fourteen Replications”

2021/10/19(火) 16:30-18:00 オンライン

Giovanni Caggiano (Monash University)

“Why Does Risk Matter More in Recessions than in Expansions?”

2021/10/12(火) 16:30-18:00 オンライン

Lawrence Uren (メルボルン大学)

“The Welfare Effects of Trade with Labour Market Risk”

### 計量経済学ワークショップ

2022/01/11(火) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

田中昌宏 (金沢星稜大学)

「マルチアウトプット・ガウス過程を用いた、建設工事受注動態統計の欠測値/反実仮想値の推計」

2021/12/21(火) 16:30-18:00 オンライン

岡田謙介 (東京大学)

「認知診断モデルの変分ベイズ推定」

2021/12/14(火) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

森川耕輔 (大阪大学)

“Semiparametric Adaptive Estimation in Survey Sampling”

2021/12/07(火) 16:30-18:00 オンライン

高橋将宜 (長崎大学)

「統計的因果推論と欠測データの統計解析」

2021/11/30(火) 16:30-18:00 オンライン

早川和彦 (広島大学)

“A Unified Approach to Efficient Estimation of Short Linear Panel Regression Models”

2021/11/16(火) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

川島孝行 (東京工業大学)

「外れ値があるデータにおける回帰モデリング」

2021/11/09(火) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

田中晋矢 (青山学院大学)

“Stable More Efficient Portfolio Selection with Large-Scale Simultaneous Inference”

2021/10/26(火) 16:30-18:00 オンライン

室井芳史 (東北大学)

「2 項分岐木を用いたオプション価格計算の新手法：離散コサイン変換アプローチ」

2021/10/19(火) 16:30-18:00 オンライン

生方雅人 (明治学院大学)

「オプション情報を用いた下方ジャンプリスクと応用研究」

2021/10/12(火) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

青野幸平 (立命館大学)

「日本株女性活躍指数のパフォーマンスは親指数と ESG セレクト・リーダーズ指数のパフォーマンスをどのような時期に上回るか？」

### 応用経済学ワークショップ

2022/01/21(金) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

奥山陽子 (Uppsala University)

“Electoral Institutions, Women’s Representation, and Policy Outcomes” joint with Ayumi Sudo

2022/01/14(金) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

小寺寛彰 (東北大学)

“The Effect of Elimination of Auxiliary Benefits on Sustainability of Social Security in Population Aging”

2021/12/24(金) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

五十棲浩二 (慶應義塾大学)

“Is Entering an Elite School a Goal or a Start?: The Effect of Ordinal Rank on Academic Achievement and College Quality” joint with Hirotake Ito, Makiko Nakamuro, and Shintaro Yamaguchi

2021/12/17(金) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

謝梓君 (シャシクン) (大阪大学)

“Beware of Artificial Intelligence’s Ability before You Trust Them: Evidence from a Stock Price Forecasting Experiment” joint with Nobuyuki Hanaki and Bolin Mao

2021/12/10(金) 16:30-18:00 オンライン

本庄裕司 (中央大学)

“The Impact of Founder-CEO Succession on IPO Survival: Evidence from Japanese Junior Stock Markets” joint with Yuya Ikeda and Koki Kurihara

2021/12/03(金) 16:30-18:00 オンライン

内藤徹 (同志社大学)

“Uncertainly Available Public Childcare, Regional Migration, and Welfare in an OLG Model” joint with Hiroyuki Hashimoto

2021/11/12(金) 16:30-18:00 オンライン

宮崎毅 (九州大学)

“Strategic Interaction among Japanese Municipalities on Local Employee Salaries” joint with Dzung Nguyen Tuan

2021/11/05(金) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

谷口みゆき (佐賀大学)

“Estimating Cost Functions in Differentiated Product Oligopoly Models without Instruments” joint with Susumu Imai, Neelam Jain, and Hiroto Suzuki

2021/10/29(金) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

川口大司 (東京大学)

“Training, Productivity, and Wages: Direct Evidence from a Temporary Help Agency” joint with Xinwei Dong and Dean R. Hyslop

2021/10/22(金) 16:30-18:00 オンライン

山下直輝 (Swinburne University of Technology)

“Participation in Global Value Chains and Rent Sharing at Small Firms in Vietnam” joint with Doan Thi Thanh Ha

2021/10/15(金) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

山本雅資 (東海大学)

“Is Incineration Repressing Recycling?” joint with T. Kinnaman

2021/10/08(金) 16:30-18:00 オンライン

阿部景太 (ノルウェー経済高等学院)

“A Dynamic Model of Endogenous Fishing Duration” joint with Christopher M. Anderson

2021/10/01(金) 16:30-18:00 対面 オンライン参加可

手島健介 (一橋大学)

“From Samurai to Skyscrapers: How Historical Lot Fragmentation Shapes Tokyo”  
joint with Junichi Yamasaki and Kentaro Nakajima

**特別ワークショップ**

開催しませんでした。

**編集後記**

春光うららかな季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ニューズレターno. 61 をお送りいたします。お忙しい中、ご執筆下さった理事やコンファレンス主催者の方々に感謝申し上げます。2022 年度も TCER をどうぞよろしく願いいたします。

Newsletter に関するご意見やご感想は  
代表理事 小林慶一郎 keiichirokbys@gmail.com  
または総務理事 作道真理 sakudo@sk.tsukuba.ac.jp までご連絡下さい。

=====  
公益財団法人 東京経済研究センター  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-7-10 山京ビル本館 703 号室  
Tel & Fax 03-3239-2524 Email: office@tcer.or.jp